

## 甲奴町担い手意見交換会が開催される

【平成 30 年 1 月 4 日掲載】

12 月 19 日、三次市の甲奴コミュニティーセンターで、経営課題の解決のヒントを探り、さらに担い手間のネットワーク構築を目的として「担い手の連携を進めるための意見交換会」が開催され、町内の認定農業者等 18 名が参加しました。

基調講演として、ファームサポート東広島の本山博文（もとやまひろふみ）代表から、集落法人が連携した機械の共同利用等の生産コスト低減に向けた取り組みが紹介されました。

講演に続いて、「担い手の連携や課題解決に向けて」をテーマに、3 グループに分かれて意見交換が行われました。

各グループとも共通して、地域の農地をどう守るかが大きな課題として出されました。課題解決には、農地の条件整備とともに、担い手の経営力の向上が重要となるため、担い手間の連携により、低コスト化やブランド化を進めることができないか、活発な議論が行われました。

関係機関からも、「集落での話し合いが大切であり、そこへ担い手の意見が反映されるよう進める必要がある。」「飼料用米等で、栽培技術の統一を図ることで肥料等資材の低コスト化を進めることが出来る。」などの助言を行い、議論をサポートしました。

この意見交換は昨年度に続き 2 回目で、共通する課題を掘り下げ議論することができました。次年度も開催し具体的な活動へつなげていく計画となっています。



【意見交換の様子】



【意見交換まとめ】